BANG SHOT

"バンバン"

かつて右側上腕動脈から逆行性の血管撮影と左側の総頸動脈を経皮的に直接穿刺して 脳血管撮影をしていた時代にそう呼ばれた 撮影方法があった

最初のバンで動脈相を撮影し2回目のバンで静脈相を撮影したそうだ

単純撮影のようなOne Shotというモードで動脈層を撮影することにより、高分解能、高コントラストの画像を撮影できた

この撮影方法をBang Shotと名付けた

撮影条件

DSA

101.8kV,272mA,50.5ms Copper 0.1mm,Focal spot size 0.6mm

One Shot 119kV,79mA,96ms Copper 0.1mm,Focal spot size 0.3mm











